

委員 井上隆司、岡村康司、久保義弘、樽野陽幸、鍋倉淳一、
日比野浩、松岡達、宮田麻理子、柚崎通介

報告事項 委員会報告の形式から逸脱した箇所もあるが、今期の国際交流活動について記す。

1. 第94回日本生理学会大会(浜松)における国際交流関連シンポジウムの企画 (既出なので略記)

第94回大会において、下記3件を実施する。日中、日韓は、元々のKOJACHの予算を使用して、日台は、今回、大会ではなく学会本体の予算を使用して、新規に行うものである。いずれも、招待講演者一人につき15万円を上限とする旅費、滞在費の支援を行う。

(1) Japan-China (CAPS) Joint Symposium -Towards FAOPS2019-

“Progress in computational physiology”

Chairs: Dr Satoshi Matsuoka (Fukui Univ) & Dr Jianwei Shuai (Xiamen Univ)

Speakers: Dr Jianwei Shuai (Xiamen Univ) **PSJ 招待**, 他3名

(2) Japan-Korea Joint Symposium -Towards FAOPS2019-

“Mitochondrial homeostasis in cardiovascular function and disease”

Chairs: Dr Motohiro Nishida (NIPS) & Dr Jin Han (Inje Univ)

Speakers: Dr Jin Han (Inje Univ) **PSJ 招待**, 他3名

(3) Japan-Taiwan (CPS) Joint Symposium -Towards FAOPS2019-

“Ion channels in physiology and patho-physiology”

Chairs: Dr Akiyuki Taruno (Kyoto Pref Med Univ) & Dr Pei-Chun Chen (Natl Cheng Kung Univ)

Speakers: Dr Pei-Chun Chen (Natl Cheng Kung Univ) **PSJ 招待**,

Dr Shi-Bing Yang (Inst Biomed Sci, Academia Sinica) **PSJ 招待**, 他2名

2. オーストラリア生理学会 (AuPS) 大会での AuPS-PSJ 合同シンポジウム

先に、AuPS 会長 の Graham Lamb 教授より、AuPS 2016 大会(2016年12月4-7日、アデレード)において、日豪合同シンポジウムを開催したい旨連絡があり、快諾の返信を送った。しかし、(先方内での意思疎通の問題と思われるが)大会長からの正式な要請が届かず、実現しなかった。改めて、2017年1月14日に、Lamb 教授から、AuPS 2017 大会(2017年11月19-22日、メルボルン)において、PSJ から2人の講演者を招待して日豪合同シンポを開催したいという旨の連絡が届いた。分野等、具体的な企画依頼が届いたら、PSJ 会員に提案を求め、ぜひ実現したい。諸費支援、一人につき1500豪ドルとのことである。

3. IUPS 2017 (Rio) 関連

IUPS 分科会から別途報告があると思われるので、本委員会に関連する点を中心に記す。

IUPS2017 が、2017年8月1-5日、リオデジャネイロ(ブラジル)にて開催される。

(1) プログラム概要が web 上で発表された。8月1日は実質的にPM5の開始で、フルに5日間の開催だった IUPS2009 Kyoto 等と比べると短めである。

(2) Plenary Lecturer として、宮下保司先生(東大、順天堂大)が決定した。

(3) Keynote Lecturer として、御子柴克彦先生(理研 BSI)と、柳沢正史先生(筑波大)が決定した。

(4) IUPS 本体の Denis Noble 会長からの、丸中理事長あて「ノーベル生理学医学賞を受賞された大隅良

典先生(東工大)を、IUPS2017に Plenary Lecturer として招聘したいと考えており、日本生理学会からも後押ししてほしい」という旨のメールが届き、丸中理事長が対応され、支持を表明された。現時点では、web上には、大隅先生はリストされていない。

(5) 確定したシンポジウム 59 題が発表された。2016 年 11 月の時点から、9 件が追加採択されている。そのリストによると、PSJ 会員が提案し Chair を務めるシンポジウムは 2 件採択された。また、シンポジウム講演者、Chair に、日本人は総計 8 人含まれている。

(6) 割引価格での事前参加登録の締め切り、要旨およびトラベルグラントの申し込みの締め切りについて、全 PSJ 会員宛メールおよび学会ホームページでアナウンスした。

(7) General Assembly は、(未確定だが) 8 月 1 日に開催される模様である。日本は Delegate 5 人が出席できる権利を有している。IUPS2013(UK)の際には、Delegate として出席出来る方を直前になって探したため、かなり難航した。今回は、余裕を持って動きだし、出席できる Delegate 候補者を日本の窓口である IUPS 分科会に上申して IUPS 本部にご推薦いただき、確実に 5 人にご出席いただきたいと考えている。

4. IUPS 関連

IUPS の General Assembly 委員会から、各国の生理学会、生理学研究、生理学教育等の多岐の項目にわたる質問票が届いた。本来、日本の窓口である IUPS 分科会の対応事項ではあるものの、日本の生理学関係の大小多数の学会の情報を統合して答えるのはかなり難しい内容だったため、IUPS 分科会と相談の上、PSJ から回答することとして、PSJ 理事長・副理事長と協力して久保が回答をとりまとめ、送付した。

5. CPS (台湾の生理学会) 大会での Plenary lecturer の推薦 (既出なので略記)

Chinese Physiological Society (CPS)(台湾の生理学会)から、PSJ に対し、合同年会 (JACBS)(2017 年 3 月 25 日-26 日、台北)における "GI physiology including gut microbia and metabolic syndrome" 研究分野の Plenary lecturer の推薦依頼を受けた。国際交流委員会で協議の上、箕越靖彦教授(生理研・生殖内分泌発達機構)を推薦し、決定した。理事会開催 (2017/3/27) 時点では、終了している。

6. FAOPS 会長 Xiaomin Wang 教授の FAOPS2019 の Site visit を兼ねた来日

FAOPS 会長かつ CAPS (中国生理学会) 会長の Xiaomin Wang 教授を、2018 年 3 月の第 95 回日本生理学会大会 (高松) の両大会長 (徳田教授と平野教授) が、特別講演者として招待され、Wang 教授が受諾された。この来日の機会を活かして、元々計画されていた FAOPS2019 の神戸会場の Site visit を行う計画である。

来年度事業計画

FAOPS2019 の直前の大会が、高松にて 2018 年 3 月に開催される。両大会長のご理解を得て、4 件の合同シンポジウムを開催させていただけることになった。(講演者個人ではなく)FAOPS 各国の生理学会とコンタクトして企画する。学会財政へのさらなる負担増がないよう、例えば、今回台湾から 2 名を招聘したが、4 か国 1 名ずつで 4 件として、今回と同じ 4 人分の経費で実施すること等を考える。

ここ数年、FAOPS2019 の成功に向け、限られた企画枠や予算をアジアオセアニア各国との学術交流に集中してきたが、今後は、地域や視野を拡げて国際交流を進めて行くことも検討したい。